

事業所における自己評価結果 (公表)

公表 令和3年10月18日

事業所名：島田市こども発達支援センター ふわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・個別活動もできるように、配慮している ・クラスの可動壁を活動に応じて移動し、スペースを広くとったりしている	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・フリー保育士を配置し、自由な活動かつ安全を確保している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・掲示物を少なくする、大きな放送音をかけないなど、刺激の少ない環境づくりをしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の空間に合わせた空間となっているか。	○		・コロナ感染症対応として、換気、消毒を頻繁に行っている ・南側デッキ（外廊下）に遮熱シートを張り、高温対策をしている	
業務改善	5	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		・R3.8~9月保護者による事業所評価実施	・事業所評価集計後、いただいた意見を職員間で共有し、改善点を探ったり、意識統一を図るよう努力している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		・島田市のホームページにて公開（R3.10月） ・保護者に向け、評価結果を書面で配布	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・検討中

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
業務改善	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・月2回以上園内研修を実施 ・外部講師による指導、助言(年3回) ・ケース検討、エピソード検討を月2回実施 ・大津保育園と合同研修会実施 ・その他外部研修に参加 	・感染症防止の為、外部研修へ参加する機会がなくなっている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントシートを利用し、複数人で話し合いながら子どもの状況把握及び支援計画作成をしている	
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△		・いろいろなアセスメントツールを使用しているが、ひとつに決めていない	・どのアセスメントツールが最適であるか、検討していきたい
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・翌週の活動について各クラスで話し合い、その後全体で確認している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた活動や行事を取り入れている ・子どもの興味関心にそって、柔軟に活動を計画、変更調整している 	・行事等の持ち方について、子どもの姿や興味を第一に考え、計画・実施していくことが大切
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・集団活動で子ども同士のかかわりも多く経験させたい
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、全職員での打合せを行っている ・活動前に、予想される姿および対応の仕方等についても検討している 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		・活動の中で気づいた点、疑問に感じた点は、次に持ち越さず、その時に確認するようにしている	・クラス内ではできるだけその日のうちに話をするようにしたい

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
適切な支援の提供	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・他者の記録を参考にし、書き方についてもレベルアップしていきたい
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・3ヶ月に1回以上、モニタリングをし、必要であれば計画の見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者以外にも、可能であれば担任も参加するようにしている	・担任も参加しやすい時間帯に、サービス担当者会議を行うなど工夫したい
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・市内での連携会議を月1回実施	
	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・嘱託医と半年に1回以上直接連絡を取り、現状の報告の他、医療的ケア手技の確認等している ・保護者の了承の上、電話等で主治医と連絡を取る場合もある	・コロナ対応のため、直接的な連携が難しい(多くの病院で訪問禁止となっている)
	24 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援の為に、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・母子保健と連携を取り、必要な場合はふわりなど療育の場につなげている ・重心児のための親子通園クラスを設定している	
	25 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行(転園)前に交流保育を実施 ・引き継ぎ書を作成するとともに、移行支援会議を実施 ・移行(転園)後も、園訪問などでフォローしている	
	26 小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・引き継ぎ書を作成するとともに、事前に移行支援会議を実施 ・入学後の様子観察(授業参観等) ・全てではないが放課後等デイサービスとも引継実施	
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他センター等と連絡を取り合っている	・感染症拡大の為、他施設見学などはできていない	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
関係機関や保護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・隣接する民間保育園と、日常的に交流しているが、情勢的に難しい時期もある	・コロナ禍で感染症が拡大するリスクを考慮し、保育交流を自粛したり、受け入れ不可となったりしている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	△		・市の子育て支援ネットワーク会議に参加 ・自立支援協議会は担当者が参加している	・参加後の報告(情報共有)をより丁寧にしていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・保護者送迎時に、子どもの姿などについて丁寧に伝えている ・保育参加をしていただき、園での実際の様子を見て共通理解できるようにしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・保護者研修会(保護者会と共催)を実施 ・ペアレント・トレーニングは園独自では実施しておらず、他機関での講座を紹介している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・抽象的な表現はせず、保護者に伝わるような書き方を意識している ・内容について、面談時に具体的に説明している	
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・判断が難しい時にはセンター長や主任に相談するなどした上で、助言や支援を行っている ・場合により、相談支援専門員や心理士につないでいる	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・定期通園児の保護者会(ふわり会)がある	・今年度は感染症の影響で、保護者会活動ができない状況にある
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・第三者委員を選任し、苦情解決体制を整えている ・第三者委員への報告会を年2回開催	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・園だよりを月1回以上発行 ・月1回の保護者説明会(月はじめの会)の実施。保護者が集まることができないので、代わりに書面を発行した	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・年度当初に、個人情報の取り扱いについて保護者に説明及び保護者からも確認書を提出していただいている ・個人情報の書かれた書類は、鍵のかかるキャビネットに保管 ・個人フォルダーを持ち出す際、返却する際ともにダブルチェックを行っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・計画はしているが、コロナ禍で実施が難しい	・行事等での交流はできないが、散歩等で地域の方を知っていただくよう心掛けたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・地震、火災、水害、不審者、感染症対応など様々な場面想定をしている	・定期通園以外の利用児(親子通園、並行通園)への周知や訓練も実施していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年2回、隣接保育園との合同避難訓練も実施している	・定期通園以外の利用児(親子通園、並行通園)への周知や訓練も実施していきたい
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・対象者には、毎年必ず指示書をだしていただいている ・指示書を元に、看護師や保護者、給食員等で確認したうえで対応食を提供している ・配膳時には、声に出してダブル、トリプルチェックをしている	

事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標
非常時等の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○		・前年度分の事例集を、年度始めに全職員が読み、確認している ・ヒヤリハット事例が発生した際は、即日報告し全職員で共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・年1回、全職員が研修会に参加 ・コロナ禍で研修が中止になっている	・「虐待防止研修」でなくても、こういった対応が良いか、職員間で共通意識を持つことが虐待防止につながるのではないかな
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	△			・身体拘束を必要とする児がいない為、該当しない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。